

6 感染者の生活を支える

自宅療養者生活支援

新型コロナウイルスは、誰にでも感染する可能性があります。感染によって、やむを得ず自宅療養をしている人が日常生活に困ることがないように、配食や買い物代行などの生活支援を実施します。

7 仕事を失った人を緊急雇用で支援

市の緊急雇用対策

コロナ禍の影響で失業した人などを対象に、緊急雇用対策として市会計年度任用職員の採用を実施します。
※緊急のため4月から募集を始めています。本紙発行日時点で募集を終了している場合があります。

8 田川のファンを増やす

ワーケーション創出

ワーケーション(※)で田川を訪れた人材をリピーター化するため、モニターツアーの開催や、受入れ先の整備などを実施します。
※「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語。テレワークを活用し観光地などで仕事をしながら余暇を楽しむ生活スタイルのこと。

9 国・県への各種申請をサポート

事業所向け 相談窓口を開設

新型コロナウイルス感染症に関する国・県などの支援を受けるためには、さまざまな申請手続きが必要です。各種申請サポートのほか、事業の再構築などの相談を受け付ける窓口を開設します。

10 公共施設で検温を実施

体温測定システム導入

主要な公共施設に非接触型の体温測定システムを導入。発熱者を確認するなどして施設内での感染防止を図ります。
[導入施設]市役所、小・中学校、市石炭・歴史博物館、市立図書館、市美術館、市総合体育館

11 適度に歩いて感染予防

ウォーキングコース整備

適度な運動は、健康増進や感染予防に有効です。市民が3密(密閉・密集・密接)を避けて屋外で運動しやすい環境を整えるため、市総合運動公園のウォーキングコースのうち、老朽化した部分の補修を実施します。

12 市総合体育館を使いやすく

駐車場外灯をLED化

市総合体育館は、市民がスポーツやウォーキングなどで利用しているほか、新型コロナウイルスワクチン接種の会場としても使われています。利用者が夜間も安心して利用できるようにするため、駐車場外灯をLED化します。

13 商店街を感染から守る

商店街の感染防止対策などの費用助成

市民が安心して買い物ができるようにするため、伊田商店街や後藤寺商店街が実施する感染防止対策や、消費喚起のために実施する取り組みなどに必要な費用を助成します。

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金を活用

田川市の 独自支援策

13


終わりが見えないコロナ禍。家庭や企業・地域・学校などそれぞれの立場で日々奮闘するみなさんを支援するため、13の支援策を打ち出します。

1 高齢者に商品券配布

65歳以上 1人5,000円

65歳以上の高齢者に1人5,000円分の商品券を配布。健康維持や活動の促進、コロナ禍による家計支出(マスク購入費、ワクチン接種時の交通費など)などを支援します。さらに、商品券の活用による経済の振興を図ります。

商品券の詳細は裏表紙で紹介
配布の対象や配布方法、使用期限などの詳細は、本紙20ページ(裏表紙)をご覧ください。



2 子育て世帯の家計を支援

小・中学校給食費 3か月間無償

子育て世帯では、子どもを含む家族のマスクや消毒液の購入などさまざまな出費が家計を圧迫しています。そのため、家計支出への支援策として、小・中学校の3か月間(4月～6月)の給食費を無償とします。

3 プレミアム率30%の商品券

たがわ元気再生振興券

1万円で
1万3千円分

長引くコロナ禍が市民生活や事業者の経営に影響を与えているため、田川商工会議所と連携し、プレミアム率30%の商品券を発行。家計と地域経済の両面を支援します。

4 福岡県立大学 新入生に商品券

新入生 1人5,000円

コロナ禍において福岡県立大学に入学する大学生(大学院生含む)に対し、本市での就学を応援するため商品券を配布します。



5 住みやすさ 働きやすさをPR

移住定住 ポータルサイト導入

リモートワークの推進や都市部から地方への移住が注目されています。これを契機に、ポータルサイトで移住・定住に関する情報を発信します。
[ポータルサイトの内容]
移住に関する支援制度、リモートワーク・サテライトオフィス情報、空き家情報など